

8月16日(月)

畏れによる恵み？

聖書朗読 詩篇112

神はかたよったことをなさらず、どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行なう人なら、神に受け入れられるのです。使徒10：34～35

ある人生相談コラムニストが言ったことですが、彼女が受け取るほとんどの手紙は恐れを扱ったものだそうです。彼女は「人々は健康を、財産を、愛する人々を失うことを恐れています。人々にとって生きることは恐れそのものなのです。」と言いました。

しかし正しい恐れ——恐れ、畏怖、神様の知恵は私たちを祝福へと導いて下さいます。ソロモンは「神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。神は、善であれ悪であれ、すべての隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからだ。」(伝道者の書12：13～14)と結んでいます。神様を畏れることは私たちを祝福へと導きます。

神への畏れは私たちの人生に、健康的で良い変化をもたらしてくれます。クリスチャンは地上における寄留者として、自分たちの人生を、敬虔な畏れのうちに過ごします(1ペテロ1:17)。神様への畏れは私たちに自分が何者であるか、どのように生きるべきかを思い出させてくれます。私たちは神様との関係を否定するような恐れの内には生きるのではなく、いつも主が私たちと共にいて下さるゆえに、主を敬い(畏れ)生きていきたいです。

ジェイムズ・ハスティングスは主への畏れ、言い換えると、絶えず主を第一に置くということは「私たちを貫く針であり、その針こそ、私たちを天国に結び付ける糸を運んでくることのできる針なのです」と書いています。これ以上に偉大な祝福はありません！

讃美歌 66

祈り 親愛なるお父様、私たちが少しずつ成熟し、あなたを畏れ、あなたを愛し、あなたに従い、あなたの言葉を喜ぶことができるよう助けてください。あなたを他のすべてから切り離して、あなたにあって敬虔な、聖なる畏れをもって生きることができるよう。

あなたの御子の御名によって私たちは祈ります。アーメン。

デイヴ・シュルズ

カリフォルニア州 ヴェンチュラ

今日の花

2021年8月16日～8月22日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月17日(火)

おお、主よ、あなたはどこにいますか？

聖書朗読 詩篇115：3

私たちの神は、天におられ、その望むところをことごとく行われる。

詩篇115：3

神様を待つこと。答えを乞うこと。神様をご自身を贖うご計画を思い描くこと——そのような活動は私たちの日々を満たしてくれます。そして、私たちが諦めてしまうとき、神様ではなく、自分の持っている物に重きを置く時、食事、努力を振り返ったとき、神様は静かな小さい声で言います。「あなたはどこにいますか？」と、神様は問います。ある人は「忙しいのです。」と言います。また別の人は「生計を立てているのです。」と言います。さらに三人目は「泣いているのです！」と叫びます。

マーシーは全身性エリテマトーデス(指定難病)に犯された自分の体を、生きた犠牲として手術に差し出しました。「私は主にあって精一杯生きてきました。もし私が手術中に死んだなら、それはそれでみこころなのです。」彼女は、何時間にもわたる手術のあと、三週間以上も眠り続けました。彼女の心臓と肺は動いていました。彼女の脳は活動していることを示していましたが、しかし彼女の意識は戻りませんでした。教会は祈り、断食しました。彼らは皆、毎日毎日、マーシーが目覚めたという言葉を求めて、教会のホームページとリンクしたツイッターを見ていました。

彼らの内の何人かの心の中から、懐疑的な声が言いました。「私たちの神様はどこにいますか？ 少なくとも、他の神々は見たり聞いたり触れたりすることができるのに。」

ここで着目することは、主は私たちの祈りを聞かれ、答えて下さるお方ではありますが、私たちの願い事をなんでも叶えて下さるお方ではなく、みこころを行なうお方だということです。マーシーはそれを知っていました。マーシーは神様に全き信頼を置いていました。神様が最善をして下さる確信がありました。神が彼女を取られたので、彼女はいなくなりましたが、彼女は天国で目覚めました。私たちが祈る時、主のみこころならばと祈りますが、この彼女の信仰にあふれた最期の言葉は、神様が最善をご存知であることを思い出す助けとなるでしょう。

讃美歌 520

祈り 親愛なる神様、あなたは静けさの中に、苦痛の中に、不安定さの中におられます。あなたはただ、力強い御業を実行されるのにふさわしい時を待っておられるのです。静まってあなたを神と知ることができるような忍耐力を、私にお与えください。イエス様の御名により。アーメン

ポール・トーマス

カリフォルニア州 ユカイパ

8月18日(水)

涙をぬぐえ

聖書朗読 詩篇116

まことに、あなたは私のたましいを死から、私の目を涙から、私の足をつまづきから、救い出されました。私は、生ける者の地で、主の御前を歩き進もう。

詩篇116：8、9

それを思い出すことによる苦痛はあまりにも大きすぎたので、彼女は生まれ故郷に五十年以上も帰りませんでした。しかしフランスの彼女の故郷近くの村の南に向かって車を走らせながら、彼女は「故郷が、今どんなふうになっているか見てみようかしら」と言い出しました。そこで急に高速の出口を出て、車を走らせ、彼女の生まれ故郷である、旅行者のパンフレットから出てきたようなとても小さな村の真ん中にいました。一つひとつの家々の窓にフラワーボックスが掛かっていて、小さな教会堂は良く管理されていて平和の中にあるように見えました。

しかし第二次世界大戦が終結したときには、ものごとは違っていました。小さな家々に住む家族たちに、ナチスの軍隊が兵士を匿うように要求しました。それらの兵士たちは家の持ち主たちを四年間にわたって苦しめました。戦争が終わったという知らせが来ると、兵士たちは見つけうる限りすべての男性の命を奪って町を去って行きました。

今や彼女は帰ってきて、犠牲者の慰霊碑のところに立っていました。彼女の兄弟、叔父たち、いとこたちの名前がすべてそこに記されていました。憎しみの気配も見せず、静かに彼女は祈り、そして道を歩いて通り抜けたあとで彼女は振り返って言いました。「もう、行きましょう」と。長い年月がかかりましたが、神様が彼女に苦しみを受け入れ、新しい出発をさせて下さった時でした。

讃美歌 517

祈り 親愛なる主よ、思い出すことが苦痛である時、私たちが憎み合い、あなたが与えてくださる喜びを破壊させてしまうことがないように、どうか助けてください。イエス様を通じて願います。アーメン。

ウィリアム・E・マクドノー
カンボジアの「命の船」

8月19日(木)

教えてください！

聖書朗読 詩篇119:33~40

主よ。あなたのおきての道を私に教えてください。そうすれば、私はそれを終わりまで守りましょう。
詩篇119:33

子どもが「説明して」とか「どうやってやるのか教えて」と頼んでくれるのは、なんと喜ばしいことでしょう！ あなたができる時に、子どもたちのその欲求を満たしてあげることはとても重要なことです。私は、子どものような心で語り掛ける「おお、主よ、あなたのやり方に従うことを教えてください」、「私に理解を与えてください、導いてください、そして私の心を変えてください」と懇願し続けるこの聖句が大好きです。

未来の教師を訓練するとき、私たちは下記の要素を含んだレッスンプランで彼らを導きます。動機付け、説明、実践、理解していることの確認、そして一人でやれるようになること。究極の教師であるイエス様を見ていると、私たちはつい「どうしたら私にもそれができるでしょうか？」と尋ねます。イエス様の物語は私たちに、イエス様がどのように導き、理解を与え、ついてきた人々の心に良い変化を残したかを見せてくれます。

あらゆる教師にとって究極の報酬は生徒が、時には何年も経ってから「あなたが私の人生を変えてくれました、私の先生になってくれてありがとうございます」と言ってくれることです。若い人でもお年を召された方でも「教えてください」と言ってきてくれた時には、それに耳を傾け、そして説明して教え、神様の道の模範になりましょう。それはきっと彼らの人生に変化をもたらすでしょう。

イエス様は私たちの究極の教師ですから、私たちはいつもイエス様の生徒であることを願いましょう。

讚美歌 II 173

祈り 親愛なる主よ、私たちがいつも子どものような心を持ちあなたの教えを求め、そしてその教えに聞くことができますように。私たちに、他の人たちを教えるための欲求と能力を与えてください。イエス様の御名により。アーメン。

スーザン・ギボニー

カリフォルニア州 マリブ

8月20日(金)

ただ一つの道

聖書朗読 詩篇119:105~112

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。 詩篇119:105

私たち家族がスペインのカミーノ・デ・サンティアゴでハイキングをしていた時、道しるべを探すのが必須であることに気がきました。それらは通常、建物や歩道、壁、木そして街灯柱に黄色い矢印の形で塗られています。それらの道しるべは、私たちの目的地であるサンティアゴ・デ・コンポステラにたどり着くのを手助けするためのものです。私たちを包む美しい景色は私たちの気を容易に逸らせました。そうしたら私たちは道を見失ってしまうでしょう。道はちゃんとあるのですが、一度ルートから迷い出てしまうともう一度探さなければなりません。

クリスチャンは自分たちの目的地に連れていくための道しるべのついた道を与えられています。どんな旅でも同じであるように、私たちは気を逸らされてしまうことがあります。私たちがまた、自分の道を見失ってしまうかもしれません。もう一度元の道を見つけるためには、私たちは神様の言葉に立ち返らなければなりません。神様の言葉は私たちのガイドです。クリスチャンの旅路のための道しるべなのです。

道を見失っていませんか？ 神様の言葉に返りましょう。私たちに對する神様の愛と約束を読むのです。神様が与えてくれる道に従うことさえすれば、その約束は私たちのものです。「私は心を尽くしてあなたを尋ね求めています。どうか私が、あなたの仰せから迷い出ないようにしてください。」(詩篇119:10)

讚美歌 80

祈り 私たちのお父様、あなたの言葉を私たちにくださることに感謝します。私たちがあなたの言葉を探すのを助けてください。私たちがそれを心のそばにとどめて、あなたの道を見失うことがありませんように。私たちはこの人生の旅を続ける中で、強さを求めて祈り、あなたの見守りを乞います。

キリストによって祈ります。アーメン。

キャシー・トマソン

カリフォルニア州 ポートヒュニーム

8月21日(土)

自由にしましゅう！

聖書朗読 詩篇119:17~32

こうして私は、あなたのみおしえをいつも、とこしえまでも、守りましょう。そうして私は広やかに歩いて行くでしょう。それは私が、あなたの戒めを求めているからです。
詩篇119:44~45

私のゴールデン・レトリバーのナツメグは、カリフォルニア州の賑やかな市街地で最初の5年間を過ごしました。散歩は毎回、混雑した車道のそばの慌ただしい歩道でリードにつないでしていました。彼女は自由に走り回ることがどういうことか知らなかったのです。

ナツメグが5歳のころ、私たち家族はニューメキシコ州の山の上の3エーカーの土地に引っ越しました。この柵のない牧草地は松の木に囲まれていて、国有林として保全されていました。そこでは、ナツメグは天国にいるようなのびのびした環境で過ごしていました！ 毎朝私が表のドアを開けると、彼女は牧草地に深く飛び込み、彼女の金色の毛並みはそよ風になびきます。彼女は天然の草を抜けて競争し、ウサギやネズミをさがして穴を掘り、そしてさらさらと音を立てる松の木陰に飛び降り、鳥やヘラジカを探しました。彼女は今までで初めて、犬が本来そうするように造られたことを自由にすることができて本当に幸せでした。

一般に信じられていることとは違って、主の命令は限定したり制限したりするものではありません。それらは私たちが自由にするために造られているのです。私たちは自由になって、神様が私たちを創造されたところの驚くべき計画に駆けこむことができます。私たちが神様の命令の道に踏み込むとき、神様が私たちを通じてできることにはもうなんの制限もないのです！

讚美歌 II 180

祈り 親愛なるお父様、私たちの心を自由にしてくださいことに感謝します！あなたが私たちをあなたの命令の道に走らせ続けてくださり、それによってあなたが私たちを創造されたところの驚くべき目的のために使うことができますように！

イエス様の御名により。アーメン。

シャイル・ボーウェン
コロラド州ロングメント

8月22日(日)

聞いている誰か

聖書朗読 詩篇120

苦しみのうちに、私が主に呼ばわると、主は私に答えられた。 詩篇120:1

友人と私が日曜学校の玄関でしゃべっていたとき、彼女が突然何かを見、聞こうとして話を止めました。「誰かが『ママ』って言ったのよ」と彼女は説明しました。

「どの『ママ』？」と、すばやくあたりを見回しながら(私自身の子どもたちも今は十代です)、私は返しました。自分たちの子どもたちが何歳であろうと、もし彼らが自分たちを呼んでいるなら、応えるためにその場においてあげたいと思います。

より大きなスケールでは、神様は私たちがいつ呼びかけたとしても、そこにいてくださいます。神様は私たちが祈るとき、聞いてくださると約束してくださいます。神様はいつでも呼ばば応じてくださり、いつでも耳を傾ける準備ができていて、そしていつでも答える準備ができています。神様は私たちの心に何かがあるのか知りたいと望んでおられます。詩篇4篇3節で、私たちに「私が呼ぶとき、主は聞いてくださる。」と教えてくれます。

時々、私たちが話し相手が必要としているのに、友人が自分の問題に忙しすぎて私たちの話を聞けないことがあります。私たちの配偶者もまた悪い一日を過ごしているかもしれません。私たちは傷つき、孤独になり、愛されていないと感じてしまいます。しかし、神様は私たちを気にかけてくれると約束してくださっており、私たちの話を聞くのをただ待っていてくださいます。

讚美歌 II 188

祈り お父様、私がいまずあなたに打ち明けることを忘れないようにどうか助けてください。私のことをこんなにも気にかけてくださることに感謝します。周りの人々が話し相手が必要としているとき、私が話を聞いてあげることができるよう、どうか助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

シャロン・フォスター
テネシー州 マクエウェン